

(別紙5)

整理番号 2024P-159
補助事業名 2024年度 就労支援機器の整備 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 向陵会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

就労支援機器を整備することにより、農福連携事業による授産商品の増産と増収を図り、就労継続支援事業所で働く障害者の方々の利用の促進を図るとともに、利用者の賃金や工賃の向上を目指します。

(2) 実施内容

当事業所では、自ら栽培、収穫した果樹や農産物を加工食品の原材料として使用するため、その原材料の鮮度を保ち、冷凍保存できる「液体瞬間冷凍機」により、冷凍したものを冷凍保存庫で長期保存することができるようになった。これにより、季節に関係なく、果樹や農産物を使用し、果樹のジャムやソース、ドレッシング、ジュースなどへの加工が可能となり、カフェでも、果樹を使用したスイーツなどを楽しんでいただくことが年間を通し、可能となりました。

また、年間を通して、栽培活動に限られていた農福連携事業における就労支援の作業メニューが多様化し、加工商品作りやカフェの接客業務など、利用者の希望や適性に合った訓練メニューにより、当事業所をご利用いただけることとなります。



ホームページ <https://himawarien.net/info/#article2093>

社会福祉法人向陵会ホームページ > お知らせ

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

JKAの助成を受け、就労支援機器の調達ができたことにより、就労継続支援事業所の通所希望される方への利用促進を図ることで、利用者の増加、事業所全体の平均利用日数を延伸させることができる。

また、就労支援機器を使用することで、果樹や野菜などの多様な加工商品づくりを進め、商品販売額の増加により、利用者の平均工賃の向上を図ることができる。

3 補助事業に係る成果物

機関紙 ひまわり通信

ホームページ <https://himawarien.net/>

広報誌 地域交流施設「さんテラス大原野」

専用サイト

施設開放事業や農福マルシェを通じ、地域住民の皆様にも周知を図る

ホームページ 掲載

- 2025/04/01

第3乙訓ひまわり園で、就労支援機器を購入しました（公益財団法人 JKA 補助事業）

第3乙訓ひまわり園就労継続支援事業所「草のたね」では、公益財団法人 JKA から助成金事業の採択を受け、液体瞬間冷凍機「凍眠」をはじめ、冷凍保存庫、冷凍商品調理器具、加工器具、調理台などの就労支援機器を購入することとなりました。

これらの就労支援機器は、当事業所で栽培、収穫した果樹や農産物を原材料として、地元農家様や農業系学校、農業普及所などの協力を得て、多種多様な加工品を試作することにより、いちご、ブルーベリーのジャムやソース、野菜のドレッシング、味噌など魅力的で、美味しく味わえる加工商品の製造が可能となります。これにより、この事業所に通所されている方、これから通所を希望される方に対し、加工品づくりやカフェなど、ご自分の希望するお仕事を提供することができるのと同時に、夏冬の厳しい季節でも室内で楽しくご仕事ができるようになると考えています。

また、農福連携事業による授産商品の増産と販売により、増収を図り、就労継続支援事業所で働く障害者の方々にお支払いするお給料（利用者工賃、賃金）の向上にもつながるものと考えます。

このたびの公益財団法人 JKA よりいただいた助成金に対し、感謝申し上げますとともに、助成金の趣旨を最大限生かせるよう、今後も引き続き、就労継続支援事業所の運営に努めてまいります。

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人向陵会（コウリョウカイ）

所 在 地： 〒617-0006

京都府向日市上植野町五ノ坪11-1

代 表 者： 理事長 小野 哲（オノ サトル）

担 当 部 署： 第3乙訓ひまわり園（ダイサンオトクニヒマワリエン）

担 当 者 名： 施設長 谷口 徹也（タニグチ テツヤ）

電 話 番 号： 075-335-0335

F A X： 075-335-0338

E - m a i l： tetsuya_taniguchi@himawarien.net

U R L： <https://himawarien.net/>